

# きよさと 組合だより



No.340

## 謹賀新年



もくじ

年頭にあたって

清里町農業協同組合代表理事組合長 石井 透…2  
平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔章…4

新年のご挨拶 清里町農協青年部部长

山崎 一幸…5

新年のご挨拶 ホクレン斜里原料所所長

泉 佳史…6

新年のご挨拶

網走農業改良普及センター清里支所支所長

高松 聡…7

新年のご挨拶 清里町農協青年部部长

桑名 達也…8

新年のご挨拶 JA清里町女性部部长

菊池 淳子…9

第5回JA清里町収穫感謝祭

第31回JA清里町女性部研修会

新規共済契約者様温泉旅行親睦会

清里中学校インターンシップ

平成28年度第2回廃プラ回収

清里町酪農婦人研修

知って納得! 税金講座

各課紹介 農畜産課

今こそJA!

理事会の経過をお知らせ致します

組合員状況

年末・年始の業務日程

ATMサービスの休止について

21

21

18

18

16

15

14

14

13

13

12

11

11

10

9

8

8

6

5

4

2

2017年

1

平成29年

# 年頭にあたって



清里町農業協同組合

代表理事組合長

石井

透

新年あけましておめでとうございます。組合員並びにご家族の皆様には、ご健勝の中、新年を迎えられますこと心よりお慶び申し上げます。もとに本年こそは、自然災害なども無く安定した天候に恵まれ、一年の成果が実を結び飛躍の年となることをご祈念申し上げます。また、日頃より農協事業推進に対しご協力を頂き、深く感謝申し上げます。本年度も役員一丸となり組合員各位の負託に心えられるよう事業展開を進め経営基盤の強化、営農・生活の向上に寄与できるように努めて参ります。また、今後心配される諸課題に対して即応できる組織体制の構築と事業運営を進めて参りますので組合員皆様の特段のご指導・ご協力のほ

ごお願い致します。

昨年を振り返りますと、8月16日以降7号、9号、11号と3つの台風が北海道を直撃し、その後の10号で大きな影響を受け全道的に甚大な被害を受けました。河川の氾濫による農地の崩壊流失、長期間におよぶ冠水によって収穫のできない圃場も多く見られ、農作物の収量・品質の低下、飼料作物の倒伏など多岐に亘る被害が発生しました。また、強風による農舎、牛舎、ビニールハウスなど多くの建物にも被害が出ており、激甚災害に指定されましたが、復旧工事も中々進んでおらず、本年度の営農に影響が出ることが心配されております。清里町においても、8月の総雨量が460ミリを超え、平年の4倍近いものとなり、河川の氾濫

などはありませんでしたが、農地の崩落、作物、土地の流失、建物の損壊、作物の倒伏、長期冠水による湿害など多くの被害が出ております。被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。農協と致しましても、迅速な対応を心掛けて災害の早期回復に向け取り進め、防除作業が困難な圃場も多く見られたことから、急ぎよ防除ヘリ5台を手配し、馬鈴しよ309ha、てん菜150haで防除散布を実施しております。今後この経験を活かし緊急時での的確な対応を心掛けていきたいと考えております。

昨年度の作況ですが、馬鈴しよにつきましては台風の影響を大きく受け圃場での腐敗なども多くみられ、計画を大きく下回る結果となり、単収は65俵を割り、澱粉価についても平年より1%以上低く、澱粉生産量は2万トン以上を目指しておりましたが、18,314tの結果となりました。操業日数も7日間の11月12日操業終りとなりました。大きな要因と致しましては、降雨の影響による圃場での品質低下、9月以降の生育不良により肥大が進まず、特に晩成の品種で収量の低下となっております。本年使用する種子芋についても収量低下の中、供給確保が難しく希望数量80%を切る配布となり今年馬鈴しよ作付面積の減少は避けられませんが、本年度の営農計画に支障がないよう取り進めて参りたいと考えております。

したが、糖分は平年よりやや低いところですが、収量は平年を上回ることとなり安堵しております。しかしながら圃場条件によって湿害の影響を大きく受けた組合員も多く、心痛いかばかりかと感じる次第です。昨年度においては、収量の個人差が大きい年となりました。

青果類につきましては、長芋、ゴボウなどは台風の影響を受け、単収の減、製品化率が低下し、大根、加工用スイートコーンでは、天候不順での生育不良となり大きく減収しております。日罐向けスイートコーンは、台風の被害で工場の操業ができません圃場廃棄となりましたが、工場からの見舞金と、畑作共済での対応で一定の補償はして頂けるようになりましたが痛ましい結果となりました。玉ねぎについては、全道的な豊作基調の中、価格が低迷しており青果類については、厳しい環境となっております。

畜産につきましても、個体販売で高値水準での取引が続いており和牛など販売高を伸ばしております。生乳生産では、生産を中止された酪農家もございますが、個々の生産計画に沿った安定した生乳生産となっております。台風の影響により「番草の品質低下、デントコーンの倒伏による収量減、後継牛不足などの影響が今後心配されることです。

施設取得整備に関しましては、昨年度麦作サイロ6基(3、300t)増設を行い、甘味資源作物産地強化緊急対策事業を活用し清泉地区澱粉工場の2カ所に洗車場を整備し、また、遊離土対策として高温の蒸気でシストなどを死滅させる加温殺菌施設の導入、シストセンチウウのまん延防止と密度低下を目指し、合わせて圃場還元など有効利用を考えて参りたいと思っております。麦作羽衣工場はサイロ4基を残して解体し、跡地につきましましては今後、5カ年計画の施設整備に基づき利用を考えております。

この度の麦貯蔵施設およびシストセンチウウまん延防止施設に対しまして、清里町より組合員の負担軽減、農業振興に向け事業費の3分の1に對して事業補助の支援を頂いております。

また、昨年、一昨年と2年続きの災害に対しまして、早期復旧に向けた臨時予算を組んで頂きました清里町には常口頃より農業振興にご指導、ご支援頂いていることに心より感謝とお礼を申し上げます。

農業情勢ですが昨年「農協法、農業委員会法、農地法の一部改正」があり、全国の単協並びに系統組織において3カ年を集中期間と定め自己改革を進めております。また、北海道でも第28回JABA北海道大会決議事

項にあります「農業所得の20%増大、担い手の倍増、サポーター550万人づくり」を実践目標とし取り組んでおります。当農協と致しましても9期5カ年計画の中にも取り入れ組合員と共に進めている中、昨年11月に規制改革推進会議農業WGの提言につきましては、懐疑的、高圧的、横暴な意見であり農業改革がいつの間にか農協解体へと方向を変え、農協事業そのものを農業の敵として位置付け、悪者扱いしており到底理解できません。生乳指定団体に対して

も都合のよい一部の意見だけを取り上げて問題提起し、生産現場の現状を見ることなく発言しており「怒り」と「憤り」を感じるものです。それを受け与党、農林部会での調整が行われ農業競争力強化プログラムが決定されました、強硬なWGの提言からある程度押し戻しはしましたが、スピード感を持って自己改革を取り進め、年次計画の進捗状況確認を行うなど一層厳しさが増した強化プログラムとなっております。

TPPにつきましては、昨年末TPP承認案が国会で可決されましたが、トランプ次期米大統領が就任時に離脱すると公言し、2国間協議を中心に貿易交渉を進める方針を打ち出しており、このような状況の中で急いで承認する必要があるのか疑問視するところであり、交渉内容の

詳しい説明もなく、ただやみくもに突き進むことにごのような意味があるのか全く解りません。また、昨年末より今まで水面下で行われていた対EUとのEPA交渉が大きな進展が予想され今後、EUとの農産物関税についても厳しい交渉となると感じております。

ここ数年あまりにも行き過ぎたグローバル化に警鐘を鳴らす人々が多くなってきたおり、先進国でも国内重視の動きが盛んになってきております。日本においても、福島、熊本大震災、昨年の北海道の台風災害時地元の農協、系統組織の動きにより地域農業、地域経済の底上げ、復興に大きな働きをしており、改めて見直されてきております。清里町農協と致しまして、農業情勢が不安定な中、共生、相互扶助を基本理念に今後とも組合員、役員共に清里町農業の発展、生活の向上、地域経済への貢献に取り組んで参りたいと思

います。結びにあたり、本年も組合員並びにご家族の皆様のご健勝と出来秋が豊穣の年となりますようご祈念申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご理解、ご協力をお願い申し上げます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

# 平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところであります。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラム<sup>①</sup>の取り纏め、次期米国大統領トランプ<sup>②</sup>・トランプ氏のTPP離脱<sup>③</sup>・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力

ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。言いつまでなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすこと

ができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるような努力して参ります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉<sup>④</sup>です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでありあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶いたします。

年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶

清里町農民連盟

委員長

山崎 一幸



新年明けましておめでとうございます。平成29年の新春をご家族で迎えられた事を心よりお喜び申し上げます。

また、日頃より農民連盟の活動につきまして暖かいご理解と、ご協力を戴いております事にお礼申し上げます。

昨年は想定外と言える気象災害に暮れた年でした。1か月間に4回の台風が本道を直撃し、年が明けても復旧がされず、復旧の目途すら立たない現状であり早急な回復を祈るばかりです。

当町では、他市町村と比べ見た目の被害は軽微であったのが幸いでしたが、農作物の収量や品質の低下に深く影響があったことは確かであり、豊作の願いを削ぐ結果となりました。

農業を取り巻く情勢は特にTPP(環太平洋経済連携協定) や2国間でのFTA(FTA)など経済に関わる交渉が最大の案件となります。昨年の12月9日にTPP(環太平洋経済連携協定) 関連法案が野党の

反対を押し切り賛成多数で可決され、日本はTPPを批准したことになります。しかし、米国のトランプ次期大統領がTPP離脱を明言しており、TPPが発効する見通しは無いでしょう。TPPは域内12カ国全体の国内総生産(GDP)の85%を超える、6カ国以上の承認がなければ発効されない規定となっています。そして米国は80%を占めており、米国がTPPを承認しない限りTPPは発効しません。

では、このトランプ次期政権この日米FTAで日本はどのようなのでしょうか、それを考える上で重要なことは、トランプ次期政権がTPPは最悪な貿易協定であるとし、TPPではなく2国間自由貿易協定で米国の利益を最大限にするところにある点であり、日本はトランプ新政権の誕生によって、日米FTA交渉に直面することになります。

日米間の貿易では、米国としては小麦、トウモロコシ、大豆、牛肉、豚肉、玉米などの戦略的農産物輸出、自動車、トラック、自動車部品などの輸入が暴幹的貿易関係となっています。

米国の利益を最大限にするならば、トランプ次期政権はTPPで約束した以上の農産物の輸出拡大と、それを担保す

るための日本の重要農産物にかけられている高関税率の引き下げ、さらに自動車、トラックおよび自動車部品ではTPPに定められた関税率の引き下げ撤回を要求していることとなります。

このことは、日本にとっては牛肉、豚肉、畑作物の関税撤廃を求められ、日本の畑作物生産、牛肉や豚肉の畜産生産が深刻な打撃を受けることになり、それは日本の農・農村の存立を大きく脅かし、食料自給率のさらなる低下、畑などの耕地荒廃の進展で、国土の保全にも脅威を与えることになると思います。

問題は、それだけではありません。日本の食の安全やサービスにも大きな脅威となると思います。米国では食品添加物は25000品目あるのに対して、日本は14000品目であり、10000品目以上の差があり、日本で使用を認められていない食品添加物を使用した加工食品は、日本に輸出することができないので、米国政府は米国で使用を認められている食品添加物で、かつ日本で使用を認められていない食品添加物を認可するよう求めされており、日米FTAでも重要なテーマになることは必至です。

収穫前・収穫後に使用される防カビ剤ですが、OPPやTBZは米国ではボス

トハーベスト農業ですが日本では食品添加物扱いで、表示義務が課せられています。米国政府は、その表示が輸入レモンや輸入グレープフルーツの売れ行きを阻害していると考えており、表示義務撤廃を求めている、これも日米FTAでは重要なテーマとなり、食の安全を阻害します。

アフラックなどの米国共済は、日本の保険市場の契約件数で約2割を占めています。米国の保険会社は、共済の「競争条件の同一性」が確保できれば、共済分野にも自らが進出し巨額な利益を確保できると狙っています。

当然、TPPで日本政府が米国政府に対して示した関税撤廃と非関税撤廃の水準は、日米FTAの出発点になります。つまり、日本にとってTPPより緩い水準になることはあり得ないと思います、それだけ日本の農林水産業と食の安全にとって、日米FTAは脅威と考えられます。そのことを踏まえ我々としては、今後の最大の問題点と掲げて国との話し合いを重ね、本国やこの地域に合った政策の実現に向け運動を進めていきたいと思っています。

そのためにも、盟友の皆さんのさらなるご支援を期待致したいと思います。

結びとして、本年は昨年のような災害も無く、豊穣の出来秋に喜べる事を心より祈念申し上げますと共に、農民活動にご理解とご協力をお願い致しまして新年の挨拶と致します。

## 年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶



ホクレン 斜里原料所  
所 長 泉

## 佳 史

新年明けましておめでとうございます。  
平成29年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、てん菜振興並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

平成28年度のてん菜作況を振り返ってみますと、4月上旬に気温が平年を上回り、降雨も少なかつた事から例年より早く春作業が始まりました。4月下旬には降雪があり播種・定植作業は停滞したものの平年より早く最盛期を迎える事が出来ました。しかし、5月中旬には最大瞬間風速26・5m/sの強風によりてん菜、馬鈴しょ、玉ねぎを中心に大きな被害が発生しました。その後生育は概ね順調

に推移していましたが、8月には台風7号・11号・9号により降水量は平年の4倍以上になりました。中斜里製糖工場区域内のてん菜においては270ha以上の圃場で病害症状が見られ、減収の要因となりました。

病害虫の発生については、西部萎黄病対策として6月15日・7月6日・7月27日の一斉防除にご協力頂いた結果、発生はほとんどありませんでした。また、褐斑病は台風の後圃場に入る事が困難な状況であり防除が遅れた結果、発生圃場が散見されました。

このように悪条件が重なりましたが生産実績については、収量がおよそ65t/ha、糖分が16・7%であり平年同様の結果でした。これもひとえに組合員や関係機関の皆様の日頃からの努力と土づくり

や肥培管理の成果であり、当地域の生産基盤の強さが再確認できた結果となりました。

てん菜輸送については、10月17日に早期輸送、20日に中間輸送が開始されました。中間輸送は初日から雨天でのスタートであり、その後も季節外れの降雪に見舞われました。輸送の進捗は、トラック不足や天候の影響、根腐れ原料の直送振り替え、予想収量を上回る実績などにより大きく遅れましたが皆様のご協力により11月24日に遅れを取り戻す事が出来ました。

ジャガイモシロシストセンチュウについては発生地区が拡大し、まん延防止に向けて輸送車両荷台のシート被覆、発生JAの受入施設の専用化、発生圃場原料の指定日輸送、洗浄施設の改善等蔓延防止に努めました。

農水省は、昨年11月28日に畑作物の直接支払交付金の数量払いについて、2017年産から3ヶ年の数量単価を決定しました。その中でてん菜については、現行の基準糖分16・3%で7、260円/tを80円下げ、16・3%で7、180円/tとしています。10a当りでは約500円ほど下がった事になりますが引き続き面積確保にご協力頂ければ幸いです。

さて、清里町をはじめとする区域内の基幹作物であるてん菜の生産基盤の維持に向けて、品種の開発、栽培技術向上、輸送効率向上に取組んでいくことが重要と考えられるとともに地域に根差し地域に貢献できる工場を目指していきますので皆様のご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のますますのご健勝と本年の豊穰を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶

網走農業改良普及センター清里支所

支所長 高松 聡



新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成29年の新春をご家族とともに迎えられることを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の作況を振り返ってみますと、積雪が少なく、融雪期は平年より10日早まり、馬鈴しょ・てん菜の植え付け作業は平年と比較して7〜10日程度早く開始されました。しかし、4月下旬の降雪、5月上旬の強風により、せっかく植え付けされた、馬鈴しょやてん菜に被害が発生しました。

また、6月上旬には、氷点下まで気温が下がり、豆類・とうもろこしに被害が発生し、秋まき小麦は、ちょうど出穂期を迎えていた

ことから不稔が発生しました。その後は、比較的低温の日が続ぎ豆類に遅れが出ました。秋まき小麦は出穂が早かったことから、H27年産並の登熟期間が確保され、8月上旬は降雨もありましたが皆様方の努力の結果、収穫は無事終了し、3年連続の豊作となりました。

8月中・下旬には、台風7号・11号・9号が相次いで北海道に上陸したことから、全道的に大きな被害が発生しました。当地域においても、8月の降水量が年間降水量の半数以上に達するという記録的な降雨になり、一部に冠水や浸水の被害がみられ、被災された方にはお見舞い申し上げます。

11月上旬には降雪があり、てん菜の収穫作業に苦勞された方も多かったと思います。

この様に、最後まで予断の許さない状況が続き苦勞の多い一年だったとお察しします。

馬鈴しょ(でん粉原料用)は、台風による降雨の影響を大きく受け、期待する収量を上げられませんでした。てん菜については、

8月から9月にかけて最低気温が高く経過したことから根中糖分はやや低くなったものの、根部の肥大が良好で、平年作以上を確保することができました。

このような厳しい気象条件下にあっても確かな実りが実現できていることは、ご家族や地域が力を合わせ、弛まぬ努力と、長年にわたる土づくりや、栽培管理技術の高さを現す結果と、改めて敬意を表します。

農業を取り巻く情勢は、TPPなどグローバル化の流れが進行しています。TPP関連政策大綱に基づき、27年度補正予算で、産地パワーアップ事業の創設や畜産クラスター事業の拡充、基盤整備予算の充実などが措置されたところです。また、道におきましても、ICT農業の推進や道産牛肉のブランド力強化、さらには基盤整備の農家負担軽減対策などを講じています。こうした措置を積極的に活用して、地域農業の体質強化を進めて頂きたいと考えます。

国内外の情勢がめまぐるしく変

化し、先行きが不透明な状況ではありますが、普及センターとしては、基本となる生産力をさらに高めていくとともに、多様な担い手の確保や育成、省力的な生産技術の構築などを引き続き支援して参ります。また、平成27年8月に国内で初めて網走市で確認されたジャガイモシロシストセンチュウは、これまでの土壌調査により11地区で発生が確認され、昨年10月には、法に基づき緊急防除が決定されました。今後は、まん延防止に万全を期していくとともに、輪作体系を今一度見直し、輪作年限を拡大していく必要があります。そのアイテムの一つとして普及センターでは、「サイレージ用とうもろこしの委託栽培」を検討しております。昨年、試行的に行った事例では良好な結果が得られており、今後とも皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いします。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となるとともに、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶

清里町農協青年部

部長 桑名達也



穫作業に深刻な影響を受けることとなりました。小麦、てん菜は概ね平年並みとはなりましたが、こと澁原馬鈴しょに関しては大幅な減収となり、種子芋の不足は今年の作付けにも悪影響が懸念されておりあります。

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より、農協青年部に対しまして、農協・各関係機関の皆様方には格別のご支援、ご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

我々青年部は、JA運動の先駆者として実践する自主的な組織として、昨今の厳しさを増す農業情勢の中においても、常に農協・各関係機関との連携を深め組織活動の強化や担い手育成に力を注いでいるところであります。

昨年の作況は、春先の降雪、強風により蒔き付けが遅れ、日照不足も相まって生育に影を落とす状況が続きました。さらに麦収穫後には類例に乏しいほどの度重なる台風の直撃を受け、管理作業、収

す。その他にも町内介護施設へのタオルの寄付、農産物販売やコンバイン展示をしている産業祭り、北見で開催された青年部14単組が集まるオホーツク農業祭、初開催となった樽祭でのコンテナ迷路作り、清里町農協収穫祭、食育活動の一環の畑のキッチン、青年部独自で取り組む婚活イベントの開催などの行事を通じ、他団体や地域との交流、情宣活動を行って参りました。特に産業祭りや農業祭、農協収穫祭、畑のキッチンでは青年部の活動の一端を知ってもらうと同時に、消費者の方々や我々の知らない事で貴重な意見や我々の知らない新たな一面に出会える良い機会となっております。介護施設へのタオルの寄付についても地域に貢献できる良い機会であり、微力ながら今後も何らかの形でボランティア活動を実践していきたいと思っております。

また、農協・各関係機関の皆様にご参加頂きましたソフトボール大会、あいにくの雨で室内での綱引き大会へ変更とはなりましたが、その後の懇親会も含め賑やかに親睦を深めて頂けたと感じておりま

す。青年部活動の中で、青年部部长としてホクレン中斜里糖区てん菜振興協議会の海外視察研修に参加し、ドイツ・イギリスの各地域を回らせて頂きました。栽培作物や

気候などは清里町の農業と似通っている部分が多いものの、営農の考え方や作業の方法が先進的であり、とても勉強になった視察研修でありました。今回の貴重な体験や学んだことを部員や地域の方々にお伝えするとともに、今回の研修の旅費が後継者育成基金から拠出されており、先人の方々の思いに感謝の意を忘れずにこれからの営農に役立てて行きたいと思っております。

農業を取り巻く環境は目まぐるしく変わり、TPPや農協改革など、先行きが不安な状況にあります。これからの先の見えない情勢の中、組織活動を通じて地域農業・JA運動を継続発展させていくための人材育成を図り、青年部組織の役割と必要性を今一度見直し、一丸となって立ち向かって行きたいと思っております。そして不安定な情勢を乗り切れる様、さらなる知識の習得と、農政運動への参加と協力をして行きたいと思っております。

最後になりましたが、農協・各関係機関の皆様には本年も我々青年部員への更なるご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に皆様方にとりまして明るく良い一年であります様ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶



JA清里町女性部  
部長 菊池 淳子

新年あけましておめでとうございます。  
います。

輝かしい新春を皆様とともに穏やかに迎えることが出来ましたこと心からお慶び申し上げます。

日頃よりJA女性部活動に対して、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年は、春の植え付けも順調に進みましたが5月の強風、6月の低温、その後麦の収穫を終えた8月中旬に、相次いで北海道への台風の接近上陸で豪雨、強風により、道内各地に大変な被害をもたらしました。

11月の降雪によるビート収穫の遅れなど、異常気象に見舞われた1年でした。

昨年度の活動を振り返りますと、スポーツレクリエーションで

の支部役員との交流を深め、最後に「じゃがいも踊り」、「清里音頭」を踊り継承に努めて参りました。

視察研修では、小樽、札幌方面へ行き、ニツカウヰスキー工場見学、オルゴール作り体験、白い恋人パーク見学などで、部員相互の交流と親睦を深め、道中のバスの車窓から他の地域の作物などを見るだけでも勉強になりました。

研修会では、スタイルアンドカラキラーリ相馬未愛氏の講演。各支部より食品、手芸作品の展示、アトラクション出演の協力に感謝しています。

フレッシュコミュニケーションズ部会では、部員同士の交流を深めながら共に学び活動しています。

アカシヤ部会では健康管理に努め、親睦を深めボランティア活動

に取り組んでいます。

昨年JAからの依頼で地域の小学生を対象とした食農教育「畑のキッチン」を青年部と一緒にお手伝いしました。女性部は調理部門を担当し、子供たちとじゃがいもで「いもだんご」「ふかしいも」を作り、皆さん楽しそうに作っていました。次世代を担う子供たちや消費者へ農業の大切さ、食の大切さを女性ならではの視点で伝えていき今後も活動を続けていきます。

12月にTPPが国会で承認されるなど、不透明な農業情勢の中、私たちが安心して農業を営んでいく政策になって頂きたいと願います。私たちも農業を支えるパートナーとして、家庭を明るく安らげる場とし、自らも楽しく過ごせ

るよう、部員相互のコミュニケーションを大切にし、横のつながりを深めていけたらと願います。

新しき1年にさらなる努力を重ね、2017年が飛躍の年となりますよう皆様の深いご理解とご協力をお願い致しますとともに皆様が健康で豊穡の出来秋を迎えることを心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶と致します。

# ● 第5回JA清里町収穫感謝祭

過去最高来場者  
で賑わう！



11月18日～19日の2日間で自動車・農業機械感謝フェアを行い、2日目の19日には、地域の方々へ日頃の感謝を込めて、年に1度の大会イベント第5回JA清里町収穫感謝祭を開催致しました。

今年も長芋やにんじんなどの各種野菜詰め放題、展示されている車の台数とかぼちゃの重量当てクイズ、餅まき、女性部によるでんぶん団子、青年部の串焼き、お楽しみ抽選会など様々なイベントを行いました。

地産地消コーナーには多くのお店にご協力を頂きました。

野菜の詰め放題では開始30分前から長蛇の列ができ、開始と同時に人気の長芋やにんじんに多くの方が殺到し、大賑わいとなりました。

今年からスタートした550万人サポーターづくりの一環としてJA2MP特設会場を設け22名の新規加入を得ることが出来ました。また、昨年より行っている撮影会では、JAバンクでおなじみのちよリスと清里町のご当地ゆるキャラのきよつびが登場し多くの子供たちの笑顔が会場に溢れました。

恒例の「餅まき」ではご来場の皆さんが買い物袋などを持って集まり「こっちにちょうだい！」

「もつとなげて」などの楽しそうな声が飛び交う中、皆さん一生懸命お餅を拾っていました。

最後に「お楽しみ大抽選会」が行われ、多くの来場者が見守る中、石井組合長が抽選を行い、地元農産物や清里町より提供していただいた清里焼酎、給油券、地産地消コーナー出店の各店舗より豪華賞品が用意され、当選番号のアナウンスのたびに歓声が上がりました。

第5回目となった収穫感謝祭は、天候にも恵まれ来場者数は過去最高となりました。





## 清里女性パワー

## 第31回 JA清里町女性部 研修会

幸せにする♡あなたの力  
コミュニケーションは、自分を知ることから



## 会場大盛り上がり



5集団「…書道ガール？」

12月13日、JA清里町女性部(菊池淳子部長)は、清里町学習センターにて第31回女性部研修会を開催しました。

菊池部長より、「女性部の行事であるスポーツレクレーションや視察研修などご協力頂き心より感謝しています。今年は青年部と一緒に農協主催で行われた「畑のキッチン」を手伝わせて頂き食の大切さを消費者に伝えることが出来ました。今日の講演、アトラクションなど時間の許す限り楽しんで下さい。今後ともご理解とご協力をお願いします。」と挨拶しました。

講演では、スタイルアンドカラキラーの相馬未愛氏による「家族を幸せにするあなたの力オイロ〜上手なコミュニケーションは自分を知ることから〜」を題目に自分を知ることの大切さを伝えて頂きました。講演中、心理テストなどが行われ、「当たってる!」「なるほど」といった声が笑い声と一緒に会場に飛び交っていました。

終了後、食品部門の試食会が行われ、審査にはJA斜里町女性部、JAこしみず女性部、自女連、商工会女性部、農民連盟などに投票して頂きました。  
アトラクションの最初は、5集

団で「・・・書道ガール?」で曲に合わせて字を書き迫力のある見事な作品を書き上げました。

続いて6集団による「6集団のトリセツ」では、お手製のプラカードを持って一人ひとり自己紹介するという新しい試みとなりました。どちらのアトラクションも完成度が高く見ていた人からたくさんのおひねりがステージに投げ込まれ大盛り上がりでした。

生活出展作品は、各集団工夫を凝らした料理や手芸品が披露され、北見地区に出品する作品を発表しました。

食品部門は11品中2品(アカシヤ部会勝又志のぶさんの「ごぼうの炒めふりかけ」、1集団支部の「万能みそでアレンジ」) 手芸部門は、出品数12点中3作品(4集団岡本寛美さんの「きたほなみで作るヒンメリ」7集団支部の「ペーパービーズ」2集団支部の「ヒンメリ」となりました。

今回で31回目となります女性部研修会も元気で明るいパワー溢れるものとなりました。また来年どんな内容で行われるのか今から非常に楽しみです。

## 新規共済契約者様 「温泉旅行親睦会」



# マジックショーに大興奮!

12月2日～3日に共済課では新規共済契約者様約50名を対象に、ウトロ温泉「知床第一ホテル」にて、温泉旅行親睦会を行いました。ホテル到着前に知床世界遺産センターに立ち寄り、知床の自然を映した映像を鑑賞後、施設を見学し、ヒグマやシカの実物大の写真や爪痕の模型などを見て楽しんでいました。

懇親会では石井組合長の挨拶、乾杯を皮切りに、ビンゴゲームを開催。豪華景品のチャンスに当たった方も当たらなかった方も、一喜一憂しつつ会場は大いに盛り上がりました。

料理長こだわりの会席料理を堪能しながら、宴会のメインであります「ミスター・アガック!マジックショー」では定番ネタの鳩だしから、アシスタント女性と練り広げる人体切断や箱に女性が入って剣を刺すなどの大技イリュージョンに緊張しながらも、すっかり魅了されました。「どうなっているのか全然わからない」と、思わず大きな口を開けたまま、止まってしまうました。また、石井組合長がリングマジックとロープマジックに挑戦。見事に成功し会場から

大きな拍手が起きました。マジック終了後にはアンコールも起き、スプーンを触れずに曲げる驚きのマジックを披露し大いに盛り上がり、あっという間に二時間の懇親会は終了致しました。終了後は「マジックも面白かったし、トークも面白かった」とみなさん大満足の様子でした。

翌日は道の駅に寄りみなさんお土産などを購入し、思い出多き旅行となりました。「継続してほしい」という意見も多く頂きました。今回ご参加頂きました皆さま、誠にありがとうございました。これからも地域との絆を大切にしながら農協事業や共済事業と地域貢献活動の取組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努めて参ります。



# 清里中学校 インターシッ ップ

11月11日清里中学校の生徒2名が当農協給油所にインターシッ  
ップに訪れました。

職場体験では、接客や作業現場の見学を行い、「タイヤ交換の仕方や、お客様との接し方を学ぶことが出来た」「今回体験したことを将来に生かしたい」と感想を述べていました。

今後も地域の人たちに関心を持っていただける職場づくりに努めて参ります。



平成28年度

## 第2回廃プラ回収

11月15日～16日の両日、神威麦作センターにおいて、今年度2回目の農業用廃プラスチックなどの回収を実施しました。2日間ともにはば好天に恵まれ、組合員122戸、トラック台数で133台、ポリ・ビニール・農薬容器・長芋ネットなど合計で約40tの回収を行うことができました。

前年を上回る回収ができたことに対しまして、組合員各位のリサイクルに向けた意識の高さを実感しているところではありますが、一方で埋設の量もあまり減っていない現状が課題でもあります。

次年度以降も環境を考慮した中の廃プラ回収の取り組みを継続して参りますので、組合員各位のご協力をお願い致します。



# 新年明けまして おめでとうございます

平成29年 元旦

J A 清里町 役職員一同



# 清里町酪農婦人研修

11月24～25日清里町酪農組合、和牛組合は札幌方面で合同婦人研修を実施しました。  
(参加者9名 事務局1名)



## ☆北海道警察庁舎

110番通報を受理する通信指令室や信号機の管理・制御を行う通管センターを見学しました。

## ☆酪農学園大学

繋飼い牛舎・ロボット牛舎・糞尿循環研究センターを見学し哺育時期に与える飼料などについて学習しました。

酪農学園への視察は9年ぶりということもあり、積極的に講師の方へ質問していました。期間中天候にも恵まれ有意義な研修となりました。今後も皆さんに満足していただける様努めてまいります。



## ★青色申告のメリットと申請書の提出期限



知って納得!

税金講座

J A 全中・J A まちづくり情報センター 顧問税理士 ● 柴原 一

青色申告のメリットとして「青色申告特別控除」があります。これは不動産所得、事業所得の金額から別途10万円を差し引くものです。ただし、不動産所得または事業所得を生ずべき事業を営んでおり、かつ、それが事業的規模（不動産所得については原則として貸付規模が棟または10室以上であることが必要）であるときは、65万円を差し引くことができます。

65万円の控除を適用するためには、その事業について帳簿を備え付け、複式簿記の方法によりその事業にかかる一切の取引を記帳するとともに、それに基づき作成された貸借対照表を確定申告書に添付しなければなりません。

また、生計を一にする親族に支払った給与は原則として必要経費になりませんが、青色申告者については、営んでいる業務が事業的規模であり、かつ、一定の届け出を行うことにより支払った給与を「青色事業専従者給与」として必要経費に算入できます。

さらに、不動産所得、事業所得

を計算するに当たって生じた赤字は、他の所得から差し引くことができますが、控除後赤字が残ってしまった場合、原則として青色申告者に限りその赤字を翌年以降3年間の所得から差し引くことができます。

青色申告を行う場合、青色申告承認申請書を申告しようとする年の3月15日までに所轄税務署に提出しなければなりません。ただし、新たに事業を開始したときは、事業開始から2ヶ月以内に申請書を提出すれば、初年度より青色申告者になることができます。

なお、相続により被相続人から事業を承継したときは、被相続人が青色申告をしても、事業承継者は新たに青色申告承認申請書を提出しなければ青色申告者になりません。この場合、申請書の提出期限は相続発生日がその年の1月1日から8月31日までの場合は相続発生日から4ヶ月以内、9月1日から10月31日の場合はその年の12月31日、11月1日から12月31日までの場合はその年の翌年2月15日までです。

# 農畜産課

職員顔と名前を覚えてもらう企画。今回は農畜産課を紹介致します。



上田 稜

辺見 匠

堀田 竜馬

高野 尚子

山賀 章子

板垣 希美

佐々木 猛

高野 亮二

森野 浩幸

野 成晴

橋本 光司

## 農畜産課の仕事

農産物・畜産物・青果物の販売と高品質生産に向けた指導など、幅広い業務を総勢11名で頑張っております。

### 職員紹介

①氏名 ②趣味  
③今後の抱負

- ① 森野 浩幸
  - ② 手打ち蕎麦ほかいろいろと
  - ③ 組合員皆様に、こよなく愛される農畜産課を目指し頑張ります。
- ① 野 成晴
  - ② 酒、たばこ
  - ③ 矛盾していますが体に気をつけて頑張りたい。
- ① 高野 亮二
  - ② スキー
  - ③ 体重増加と抜け毛予防
- ① 橋本 光司
  - ② 山スキー、カヌー
  - ③ 仕事も趣味も新しいことにチャレンジしていきたいと思えます。
- ① 佐々木 猛
  - ② キャンプ
  - ③ 何事にも一生懸命頑張ります。
- ① 辺見 匠
  - ② 読書
  - ③ 一生懸命頑張ります。
- ① 板垣 希美
  - ② 5000円玉貯金
  - ③ ちゃんとした趣味を見つけたかったので、色々なことに挑戦する。
- ① 上田 稜
  - ② スポーツ、ドライブ
  - ③ 3年目となりましたが、初心を忘れずに頑張ります。また、担当作物を週1回は食べるようにしたいと思っています！
- ① 堀田 竜馬
  - ② 飲酒
  - ③ 1年やったことを生かし、段取り良く仕事に取り組みたい。
- ① 山賀 章子
  - ② 家飲み
  - ③ 『現状維持』最近所々に老いが出てきているので、これ以上進まないように。
- ① 高野 尚子
  - ② アウトドア関係、寝ること
  - ③ アラサーになってしまったのでステキな大人の女性になれるように日々色々と努力します(笑)

# 合（い）ぞ（ろ）JA!

## その意義と役割

### ★JAの信用事業

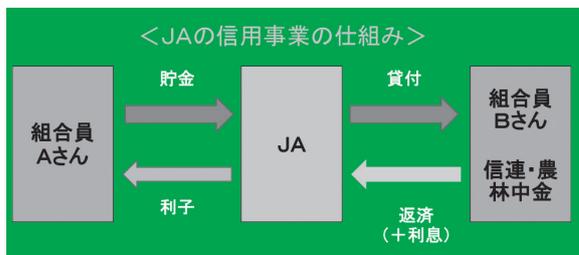
JA事業の核ともいわれる信用事業は、どのような理念で成り立っているのでしょうか？大辞泉によると信用とは「確かなもの」と信じて受け入れること」とありますが、この信用という言葉は事業を進める上で大きな意味を持っています。

JAは預金を集めたり貸出を行うなど、広義での金融事業を行っています。一般の銀行とは異なる概念で事業を展開しています。まず、組合員が資金を貯金としてJAに預け、その貯金を原資としてJAが組合員に貸し出します。JAは組合員同士が必要な資金を相互利用することを仲介する形となり、このことを「相互金融」と呼んでいます。

また、北海道独自の仕組みとして「くみかん制度」があります。営農計画書に基づきながら生産資材や家計費の支出を行い、農産物を収穫した後、年度末に精算するという仕組みは対人信用を基本としたものとなっています。

JAの信用事業も一般の市中銀行と同様に政府の金融規制の枠組

みにありますが、JAには他の金融機関にはない信用力を補完するためのセーフティネットの仕組みがあります。これは、全ての金融機関が加入している貯金者保護のための保険制度（元本1000万円とその利息を保護する公的な仕組み）の他に、中央会や信連がJAの信用事業を日頃よりチェックし、さらに全国のJAが資金を拠出してJAの信用事業の破綻を未然に防止するための基金を設けています。このようにJAの信用事業には二重の安心が設けられています。



### ★JAの販売事業①「委託販売」と「買取販売」

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとつてかわりの深いJAの販売事業について考えてみましょう。

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農産物をJAの地域全体から集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階につながっていくと全農という形になります。次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や牛乳など全道規模で大量に取り扱う農産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかかり、年度を

またぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。



★JAの販売事業②  
「一元集荷多元販売」

JAは組合員が委託した農産物をどのように販売しているのでしょうか？今回は協同組合最大の特徴ともいえる「一元集荷多元販売」について生乳を例にとってみてみることにしましょう。

生乳には、飲用乳向けや「生クリーム・バター・脱脂粉乳・チーズ」といった乳製品向けなどさまざまな用途があり、販売価格については各用途で異なり、それぞれの市場情勢を踏まえた価格設定となつていきます。

中でも飲用向けが最も高い価格となつていますが、酪農家がこぞって飲用向けのみに出荷した場合、市場に対して供給過多となり価格低下を招くこととなります。また、価格が低いといった理由で、乳製品向けの販売を抑え過ぎると、輸入品が増加し、国産生乳の需要を喪失することにもつながります。

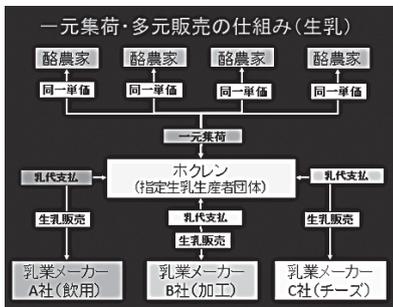
このため、国の制度として「指定生乳生産者団体」が設置され、北海道ではホクレンが指定を受けており、一元集荷多元販売による「生乳の用途別取引と需給調整」および「公平な乳代配分」を行っています。

具体的には、指定団体であるホクレンが全道の酪農生産者から集

荷した生乳を一元管理し、JA等の生産者団体を代表して乳価交渉を行い、全ての乳業者と全ての用途においてバランスを考えながら販売しています。また、代金については集荷した生乳の成分量で割り返した単価により乳代を支払っています。

このことにより、北海道内の何処で営農しても、平等な乳代精算が行われることとなります。これが「プール乳価」と呼ばれるものです。

こうした組織の結集力によって農産物の有利販売と需給の均衡を同時に実現するのが「一元集荷多元販売」の仕組みですが、実はこの方式は協同組合にしか実施が認められておらず、株式会社では独占禁止法により実施が制限されています。もし、全農・ホクレンの株式会社化や指定生乳生産者団体制度の廃止が現実になったとしたら生産者への影響は多大なものになるでしょう。



**新発売!!**

清里

斜里岳の麓に広がる  
小麦畑から収穫した  
きたほなみ使用

1袋 **300円**  
(税込み)

# つけめん

手づくりの温もり  
ツルツルもちもちめん

魚介系  
しょうゆ味  
生ラーメン

二人前

Aコープ清里店・パラスランドさつるにて取り扱いしております

# 理事会の経過を お知らせ致します



## 第10回

10月27日

### 付議事項

次の事項について審議されました。  
議案第1号 理事に対する供給限度額の変更について  
議案第2号 平成28年度9月期ディスクロージャー誌の設定について  
議案第3号 平成28年度事業下期対策について

### 報告事項

1. 神威でん粉工場共有持分の所有権移転登記について他16件

## 第11回

11月22日

### 付議事項

議案第1号 平成28年産玉葱及び長いもの融資単価の設定について  
議案第2号 畜産クラスター関連事業に伴う平成28年度畜産酪農収益力強化整備等特別対策補正事業（機械導入事業）の公募参加の取り組みについて  
議案第3号 平成28年度規模拡大による出資増口について  
議案第4号 コンプライアンス規程の一部改正について  
議案第5号 コンプライアンス・マニュアルの一部改正について

### 報告事項

1. でん粉工場の実績報告について他6件

## 組合員状況

(平成29年1月1日現在)

■組合員数		(前回報告より)	
正組合員(個人)	222名	(2名)	減
〃(法人)	12法人	(1法人)	減
准組合員(個人)	1,311名	(8名)	増
〃(法人)	0法人	(変動なし)	
〃(団体)	20団体	(1団体)	減
	(合計) 1,565		

## ★緊急停止装置の活用

「作業中に危険を感じたら、ためらわずに止める」ことは、農業以外にも当然のことです。「あと少しだから」「今止めると全体の流れに影響するかも」とためらっていると、危険の芽を摘むことはできなくなります。作業が終了したときには、それぞれの手順で機械を止めます。同じ作業ですが、緊急時にも迅速に機械を止める技術が要求されます。

止める方法として、ブレーキを掛ける、作用部を止める、エンジンを止める、と分けられます。移動機械にはブレーキが装備され、道路運送車両法に基づいた認定を受けている物は、その法律に適合していなければなりません。それ以外の移動農機では、数m以内で停止するような常用ブレーキと、駐車ブレーキの装備が必要です。単軌条運搬機（モノレール）では、暴走に備えた緊急ブレーキも必須です。それぞれが有効に働くように調整し、常に停止操作を練習しておきましょう。刈り払い機（草刈り機）では、最高回転時に5秒以内で刈り刃が停止する

## ストップ！農作業事故

人間工学専門家 ● 石川文武

ようになっていきます。携帯型の茶摘み機では、どちらかの手をハンドルから離すと停止するようになっていきます。また、コンバインやフォアレージプロワー等では、巻き込まれ防止のために、作業場所の至近に動力遮断装置が装備されています。

歩行型トラクターでは、バック時に背部の物に挟まれたときにフンタッチでクラッチがオフになる狭圧防止装置も付けられています。エンジン停止を迅速かつ確実に行えることも事故を小さくする手段です。エンジン停止は1回の操作だけで短時間のうちに停止しなければなりません。農業機械のエンジン停止装置にはさまざまな種類があります。普段は機械を操作しない家族にも停止方法だけは実行できるようにしておく必要があります。

農業機械は長く使われます。安全装備が施されていない長寿の機械を使っている場合もあるでしょう。点検整備を怠らず「いざというときにどのようにとめるのか」を身に付けて作業に取り組んで下さい。

JAの  
自動車共済  
加入者向け

突然の「事故」や「故障」など緊急時に  
心強いスマホアプリが新登場!!

JA共済

# くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

## 1 レッカー・ロードサービスの要請 受付窓口 JA共済サポートセンター

3つの  
特長

- 1 GPS機能で位置情報を送信することができます!
- 2 トラブル状況の画像を送信することができます!
- 3 お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。

▶ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!



## 2 事故受付 受付窓口 JA共済事故受付センター

位置情報を確認することができます!

▶ 確認された位置情報をJA共済事故受付センターへお伝えいただくことで、事故受付がスムーズになります。

※JA共済事故受付センターへ電話発信する場合は、位置情報は送信されません(アプリ画面にて位置情報を確認することが可能です)。また、JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。

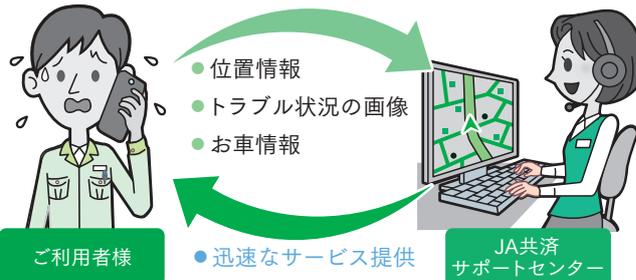
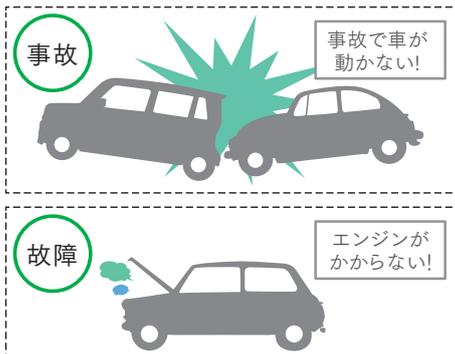
※アプリご利用時の通信料は、ご利用者様のご負担となります。

### こんな時に使える! 「くるまのミカタ」の活用 (例)レッカー・ロードサービスの要請

突然の「事故」や「故障」  
で車が動かない…



あわてず「くるまのミカタ」を利用して  
JA共済サポートセンターへ連絡!



※トラブル画像の送信有無はご利用者様に選択いただけます。  
※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。

## ご利用前の事前登録もカンタンです！



ご利用前にお車情報をご登録ください！  
お車情報は最大で3台ご登録いただけます。

### お車情報

- ナンバー
- 車名
- 車の色

## ダウンロードと設定・登録について

無料でダウンロード  
できます。

### 1 まずはアプリのダウンロード

App Store、Google Play  
からアプリを  
ダウンロードします。



本チラシ下部のQRコードから簡単に  
ダウンロードできます。

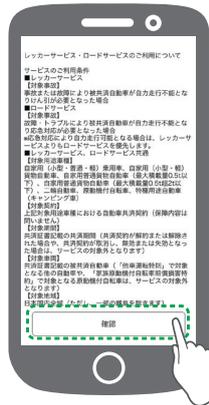
※アプリご利用時の通信料はご利用  
者様のご負担となります。

※iPhone、iPad、App Storeは米国  
及び他の国々で登録されたApple  
Inc.の商標です。

※[Android][Google Play]は  
Google Inc.の商標または登録  
商標です。

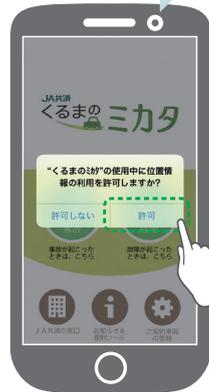
### 2 アプリを起動します

利用規約に同意



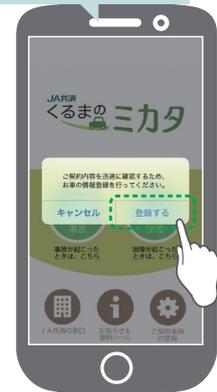
### 3 GPS機能をオンにします

GPS機能  
の利用許可



### 4 登録画面で 必要な項目 を入力

ナンバーなどを入力



## さらにはこんな機能も！



### 駐車場マーキング

郊外のショッピングモールなど  
広い駐車場に車を停めたとき  
に、自分の車の位置をマーキング  
できます。これを使えばもう  
迷うことはありません!!

### ■ ご注意事項

交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。ご利用者様のご契約内容・トラブル状況によっては、サービスの一部または全部が提供できない場合があります。ご利用者様のお使いの機種および設定によっては、位置情報を必要とするサービスをご利用いただけない場合があります。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くるまのミカタ」利用規約をご確認ください。

※このチラシは「JA共済くるまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。

※本アプリはスマートフォン向けとなっております。フィーチャーフォンの場合はご利用いただけません。

※本アプリは、JA共済の自動車共済に加入されている方向けに無料提供するものです。

※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画像と異なる場合があります。

〈アプリダウンロードはコチラから〉



Download on the  
App Store



GET IT ON  
Google Play

くるまのミカタ

検索

# 年末・年始の業務日程について

月 日	部 門 事 務 所 で ん 粉 工 場	金 融 課	業 務 課 機 械 セ ン タ ー	給 油 所 (本・支所)
12/28(水)	<b>全 部 門 平 常 営 業</b>			
12/29(木)	午前中営業	営 業	午前中営業	営 業
12/30(金)	休 み	営 業	休 み	営 業
12/31(土)	休 み	休 み	休 み	営業 (8:30~12:00) (札幌は 9:00~12:00)
<b>1 月 1 日(金)～3 日(火)までは全部門休業</b>				
1/4(水)	休 み	営 業	休 み	営 業 (10:00~15:00)
1/5(木)	休 み	営 業	休 み	営 業 (10:00~15:00)
1/6(金)	<b>全 部 門 平 常 営 業</b>			

エコープきよさと店は年内無休、また、初売りは1月4日(水)となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。

## ATM サービスの休止について

下記時間帯につきまして、  
ATM を一時休止させていただきます。

**平成29年 1 月 18 日(水)**  
**8 : 45 ~ 18 : 00**

平素は当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。このたび ATM のシステム更改等にとまなない、誠に勝手ながら上記時間帯につきまして ATM のサービスを一時休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※当日の作業状況によっては、開始・終了時刻が上記時間から前後する可能性があります。  
※ご不明な点がございましたら、等JA窓口までお問合せ願います。



# JA清里町 女性部



6 集回支部



7 集回支部



1 集回支部



8 集回支部



2 集回支部



9 集回支部



3 集回支部



10 集回支部



4 集回支部



アカシャ部会



5 集回支部

発行 / 清里町農業協同組合  
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地  
TEL 015-25-2211 FAX 015-25-4100

編集 / 組合だより編集委員会  
印刷 / 星印刷工業株式会社